安全データシート

作成日　2016年12月 9日(初　 版)
改訂日　2026年 8月 8日(第05版)

１．化学品及び会社情報

製品の名称　：トリコデソイル
会社名　：ユーピーエルジャパン合同会社
住所　：東京都中央区日本橋一丁目4番1号
担当部門　：SCM本部　SDS担当
電話番号　：03-5203-9387（事故等による急性中毒は下記の公益財団法人日本中毒情報センターに連絡すること。）
（**製品の使用方法は、03-5203-9350に連絡すること。**）
緊急連絡電話番号　：公益財団法人　日本中毒情報センター
事故に伴い急性中毒のおそれがある場合に限る。

中毒110番	一般市民専用電話 （情報提供料：無料）	医療機関専用有料電話 （情報提供料：1件2,000円）
大　阪（365日、24時間対応）	072-727-2499	072-726-9923
つくば（365日、24時間対応）	029-852-9999	029-851-9999
なお、弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の情報提供料（1 件2,000 円）は弊社が負担致します。		

整理番号　：UPLSIA_11-05
推奨用途及び使用上の制限：農業用土壌改良材以外の使用は不可

２．危険有害性の要約

GHS分類　：危険有害性は、「区分外」、「分類対象外」あるいは「分類できない」である。
GHSラベル要素
絵表示　：該当なし
注意喚起語　：該当なし
危険有害性情報　：該当なし
注意書き　：【安全対策】
なし
【応急措置】
なし
【保管】
直射日光を避け、乾燥した冷暗所（5～10℃）に密封して保管すること。
【廃棄】
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託す

るなど適切に廃棄する。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物
成分及び含有量　　：トリコデルマ　ハルジアナム T22 株　>1×10^9CFU/g
（*Trichoderma harzianum* strain T22）
増量剤等（非公開）
危険有害成分　　：該当なし

４．応急措置

吸入した場合　　：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合　：皮膚刺激が続く場合は、水と石鹸で洗うこと。
眼に入った場合　　：水で数分間注意深く眼を洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合　　：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の
最も重要な徴候症状：情報なし
応急処置をする者の保護：暴露による二次災害の防止のため、『８．暴露防止及び保護措置』の保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項：情報なし

５．火災時の措置

消火剤　　：粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、乾燥砂類など
使ってはならない消火剤：直接の棒状注水（飛散及び火災の延焼を避けるため）
火災時の特定危険有害性：火災時には、刺激性で有害なガスを放出する可能性があるので、消火作業時には煙を吸入しないように注意する。
消火を行う者の保護　　：消火作業の際には、呼吸器用保護具、保護帽、保護メガネ、保護手袋、耐火性防護服を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置：風下の人を避難させ、風上より作業する。
密閉された場所に立ち入る前に換気する。
直ちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。
漏出物の処理を行う際には、適切な保護具（『８．暴露防止及び保護措置』の項を参照）を着用する。
封じ込め及び浄化の方法・機材：漏出物を掃き集めて、密閉できる容器等に回収する。
粉じん用集じん機などで吸い取るなど、粉じんが飛散しない方法で

取り除く。
危険でなければ、漏出源を遮断し、漏れを止める。
二次災害の防止策　：全ての着火源（熱、火花、裸火、高温、静電気放電等）を取り除く。
排水溝、下水溝、地下室及び閉鎖場所への流入を防ぐ。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策　：局所排気、全体換気を行う。(『８．暴露防止及び保護措置』を参照)
安全取扱注意事項　：適切な保護具を着用すること。
飲み込まないこと。
接触回避　：『１０．安定性及び反応性』を参照。
衛生対策　：取扱い後は手足、顔などを石鹸でよく洗い、洗眼、うがいをすると共に衣服を交換すること。

保管
技術的対策　：特に技術的対策は必要としない。
保管条件　：直射日光を避け、乾燥した低温（5～10℃）の場所に密閉して保管すること。
混触危険物質　：『１０．安定性及び反応性』を参照。
容器包装材料　：情報なし

８．暴露防止及び保護措置

設備対策　：局所排気装置の設置、設備の密閉化、又は全体換気を適正に行う。
取扱い作業場の近くに手洗い・洗眼設備、安全シャワー等を設置すること。
管理濃度　：未設定
許容濃度
日本産業衛生学会　：未設定
ACGIH　：未設定
保護具
呼吸器用の保護具　：保護マスク
手の保護具　：保護手袋
眼の保護具　：保護メガネ
皮膚及び身体の保護具：長袖保護衣

９．物理的及び化学的性質

物理状態　：顆粒
色　：緑～ベージュ色
臭い　：無臭
融点／凝固点　：データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし
可燃性　；情報なし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：データなし
引火点　：データなし
自然発火点　：データなし
分解温度　：データなし
pH　：6.94
動粘性率　：データなし
溶解度　：水に溶解
n-オクタノール／水分配係数：適用不可
蒸気圧　：データなし
密度及び／又は相対密度：0.448～0.496g/mL
相対ガス密度　：データなし
粒子特性　：適用不可

１０．安定性及び反応性

安定性　：法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考える。
危険有害反応可能性　：通常の保管・取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件　：高温、静電気、火気などの着火源
混触危険物質　：強力な酸化剤
危険有害な分解生成物：通常の保管・取扱い条件下では危険有害な分解生成物はない。
なお、燃焼すると刺激性で有毒なガスを生成する可能性がある。

１１．有害性情報

急性毒性　経口　：(1) により、区分に該当しない。
根拠データ
(1) ラット：>1.0×10^9CFU/匹（悪影響なし）
経皮　：データがないため、分類できない。
経気道　：(1) により、区分に該当しない。(吸入)
根拠データ
(1) ラット：>5.8×10^7CFU/匹（悪影響なし）
皮膚腐食性／刺激性　：刺激性なし
眼に対する重篤な損傷／刺激性：刺激性なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性　：データがないため、分類できない。
皮膚感作性　：データがないため、分類できない。
生殖細胞変異原性　：データがないため、分類できない。
発がん性　：データがないため、分類できない。
生殖毒性　：データがないため、分類できない。
特定標的臓器毒性（単回暴露）：データがないため、分類できない。
特定標的臓器毒性（反復暴露）：データがないため、分類できない。
誤えん有害性　：データがないため、分類できない。

１２．環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性　：(1）～（3）により、区分に該当しない。
根拠データ
（1）魚類　慢性無影響濃度（30 日間）：　>6.0×10^7CFU/L
（2）ミジンコ類　慢性無影響濃度（21 日間）: >6.0×10^7CFU/L
（3）藻類　慢性無影響濃度（72 時間）：　>6.0×10^7CFU/L

残留性･分解性　：情報なし

生体蓄積性　：情報なし

土壌中の移動性　：情報なし（トリコデルマ　ハルジアナムは自然界の土壌中に生存している。）

オゾン層有害性　：オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書の附属書に列記された規制物質を含まない。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　：都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託するなど適切に廃棄する。

汚染容器及び包装　：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。
関連法規及び地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

１４．輸送上の注意

国際規制

国連番号　：該当なし

国連分類　：該当なし

国内規制　：『１５．適用法令』の項を参照の上、規定の積載方法、容器等によって輸送する。

特別安全対策　：食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
輸送前に容器の破損、腐食等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号：171

１５．適用法令

該当なし

１６．その他の情報

特になし

安全データシートは、当該製品を安全に取り扱うための参考資料として、当該製品を取り扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、当該製品に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取り扱いについて記載したものです。したがって、当該製品を取り扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いします。